



31号 令和4年9月27日

<学校教育目標>

自ら伸びる ともに伸びる

校長だより

呉市立市阿賀小学校
安宗 誠



〇〇は感謝の持ち具合のバロメーター

2学期末までに 最優先でできるようにさせたい阿賀っ子の姿は、登校時の見守りの方に、「おはようございます。いつもありがとうございます。」が言える姿。

9月12日の朝の自分がどうだったか？意識調査をしてみました。その結果は次のとおりです。

できた・・・56.0% できなかった・・・14.4% 見守りの方に会わなかった・・・29.6%

この実態を多いと見るか？少ないと見るか？

「感謝の気持ちをもてる・表せる」ことが、回り回って自分に返ってくる。自分の幸せにつながっている。そう考えると、目指すは100%。「おはようございます。いつもありがとうございます。」が言える姿は感謝の持ち具合のバロメーター。分かりやすい尺度です。

そんな姿の阿賀っ子に育てるための本校の取組としては・・・

- 1 「当たり前前」のことが実は当たり前でない」ということを具体的な事例を挙げながら、折に触れて語り続ける。
- 2 見守りの方に対する自分のあいさつの状況を定期的に自己評価する機会を設ける。
- 3 笑顔委員会を中心に「あいさつキャンペーン」に取り組む。
- 4 あいさつ名人を「学校便り」等で紹介する。

ご家庭でも、「子は親の背を見て育つ」を踏まえつつ、お気付きの部分で、お子様の感謝の心を育てていただきますよう、お願いいたします。

笑顔委員会による「あいさつキャンペーン」



「おはようございます。いつもありがとうございます。」

